

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年11月14日

**【四半期会計期間】** 第46期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

**【会社名】** 株式会社 栄電子

**【英訳名】** SAKAE ELECTRONICS CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 佐藤 隆志

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区外神田二丁目9番10号

**【電話番号】** 03(6385)7240(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 内田 淳

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区外神田二丁目9番10号

**【電話番号】** 03(6385)7240(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 内田 淳

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第45期 第2四半期 連結累計期間		第46期 第2四半期 連結累計期間		第45期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		2,559,570		1,943,153		4,639,064
経常利益又は経常損失( )	(千円)		52,501		5,151		49,565
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( )	(千円)		26,378		2,944		52
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		13,512		17,798		2,703
純資産額	(千円)		2,728,804		2,691,178		2,708,976
総資産額	(千円)		6,226,810		5,938,998		6,066,045
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は1株当たり四半 期純損失金額( )	(円)		5.19		0.58		0.01
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		43.82		45.31		44.66
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		124,859		64,089		185,590
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		7,208		17,769		14,801
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		97,350		46,622		144,127
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		1,144,619		1,150,677		1,150,981

回次		第45期 第2四半期 連結会計期間		第46期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		1.16		0.35

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、当第2四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間を除く期間については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等ありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、長引く円高や欧州債務危機を背景にした金融市場の動揺、中国経済の変調等、世界経済の減速により、景気の先行きに対する不透明感が急速に強まっております。

当社グループの主力市場である半導体製造装置関連及び産業用エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォン等の情報端末は堅調に推移しているものの、半導体メモリーの価格下落や、パソコン、デジタル家電の需要不振により、国内及び海外の半導体メーカー及び半導体製造装置生産受託会社等の一部が設備投資を手控える動きが長期化しており、電子部品の需要は低調に推移しております。

このような状況の中、当社グループは引き続き営業基盤の強化を最優先課題とし、エコ関連業界、医療関連、食品加工業界の更なる市場開拓を行っております。

また、今期より強化しております新商材の拡販活動では、既存取引先はもとより新規取引先への新規案件獲得に注力しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,943百万円(前年同四半期比24.1%減)、営業損失1百万円(前年同四半期は営業利益54百万円)、経常損失5百万円(前年同四半期は経常利益52百万円)、四半期純損失2百万円(前年同四半期は四半期純利益26百万円)という結果になりました。

なお、当社グループは単一セグメントのため、セグメント別の記載は行っていません。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、5,938百万円(前連結会計年度末比127百万円、2.1%減)となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少により前連結会計年度末に比べ104百万円減少いたしました。固定資産は主として、設備等の減価償却に伴う減少及び投資有価証券の減少により前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。

負債は、3,247百万円(前連結会計年度末比109百万円、3.3%減)となりました。主として支払手形及び買掛金の減少により流動負債が前連結会計年度末に比べ104百万円減少したことによるものであります。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金等の減少により、2,691百万円(前連結会計年度末比17百万円、0.7%減)となりました。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,150百万円(前連結会計年度末比0百万円減少)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、64百万円（前年同四半期連結累計期間比60百万円減少）となりました。これは主要因として税金等調整前四半期純損失5百万円、売上債権の減少120百万円、仕入債務の減少67百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、17百万円（前年同四半期連結累計期間比10百万円増加）となりました。これは主要因として、保険積立金の積立による支出6百万円とその他の支出10百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、46百万円（前年同四半期連結累計期間比50百万円減少）となりました。これは主要因として長期借入金の返済による支出38百万円によるものです。

#### （4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### （5）研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,090,000	5,090,000	大阪証券取引所 JASDAQ(ス タANDARD)	単元株式数は1,000株であ ります。
計	5,090,000	5,090,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		5,090,000		500,000		372,500

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
染谷 英雄	東京都千代田区	1,234	24.24
染谷 美穂子	千葉県市川市	385	7.58
有限会社酒東商事	東京都文京区湯島 1-10-2	369	7.27
染谷 政一	東京都葛飾区	300	5.89
染谷 崇	千葉県千葉市稲毛区	300	5.89
富士倉庫運輸株式会社	東京都江東区枝川1-10-22	120	2.36
栄電子社員持株会	東京都千代田区外神田2-9-10	81	1.59
阪田 和弘	鳥取県鳥取市	81	1.59
扇谷 克	千葉県千葉市花見川区	69	1.37
高須 基	千葉県佐倉市	69	1.36
計		3,010	59.14

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,067,000	5,067	
単元未満株式	普通株式 16,000		
発行済株式総数	5,090,000		
総株主の議決権		5,067	

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社栄電子	東京都千代田区外神田 二丁目9番10号	7,000		7,000	0.1
計		7,000		7,000	0.1

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,450,981	1,450,677
受取手形及び売掛金	1,324,404	1,204,072
商品	325,383	335,164
繰延税金資産	11,619	13,141
その他	11,612	15,945
貸倒引当金	1,423	1,294
流動資産合計	3,122,577	3,017,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	673,018	657,930
土地	1,170,924	1,170,924
その他(純額)	10,704	9,925
有形固定資産合計	1,854,647	1,838,779
無形固定資産	87,742	78,929
投資その他の資産		
投資有価証券	237,137	217,663
保険積立金	483,750	490,398
繰延税金資産	253,373	271,370
その他	62,718	59,398
貸倒引当金	35,903	35,249
投資その他の資産合計	1,001,077	1,003,581
固定資産合計	2,943,467	2,921,290
資産合計	6,066,045	5,938,998
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,041,185	973,818
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	66,000	46,000
リース債務	4,334	4,367
未払法人税等	18,926	15,577
賞与引当金	15,593	12,897
その他	64,507	53,618
流動負債合計	2,210,545	2,106,280
固定負債		
長期借入金	213,000	195,000
長期未払金	869,670	868,159
リース債務	8,836	6,644
退職給付引当金	22,759	23,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
役員退職慰労引当金	31,975	47,700
長期預り保証金	282	170
固定負債合計	1,146,522	1,141,539
負債合計	3,357,068	3,247,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	372,500	372,500
利益剰余金	1,826,520	1,823,575
自己株式	3,587	3,587
株主資本合計	2,695,433	2,692,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,389	1,232
繰延ヘッジ損益	1,249	443
為替換算調整勘定	2,596	2,098
その他の包括利益累計額合計	13,543	1,309
純資産合計	2,708,976	2,691,178
負債純資産合計	6,066,045	5,938,998

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,559,570	1,943,153
売上原価	2,104,511	1,590,034
売上総利益	455,059	353,118
販売費及び一般管理費	400,309	354,592
営業利益又は営業損失( )	54,749	1,473
営業外収益		
受取利息	75	75
受取配当金	4,868	5,354
不動産賃貸料	988	988
仕入割引	3,202	2,259
その他	358	409
営業外収益合計	9,492	9,087
営業外費用		
支払利息	10,208	9,136
不動産賃貸費用	1,196	775
持分法による投資損失	-	2,782
その他	335	70
営業外費用合計	11,741	12,765
経常利益又は経常損失( )	52,501	5,151
特別損失		
投資有価証券評価損	940	-
特別損失合計	940	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	51,560	5,151
法人税、住民税及び事業税	23,288	14,062
法人税等調整額	1,893	16,268
法人税等合計	25,182	2,206
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	26,378	2,944
四半期純利益又は四半期純損失( )	26,378	2,944

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	26,378	2,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,692	16,157
繰延ヘッジ損益	827	805
持分法適用会社に対する持分相当額	-	498
その他の包括利益合計	12,865	14,853
四半期包括利益	13,512	17,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,512	17,798
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	51,560	5,151
減価償却費	27,376	25,294
貸倒引当金の増減額( は減少)	1,014	783
退職給付引当金の増減額( は減少)	3,095	1,107
賞与引当金の増減額( は減少)	4,115	2,695
投資有価証券評価損益( は益)	940	-
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	16,250	15,725
受取利息及び受取配当金	4,943	5,430
支払利息	10,208	9,136
持分法による投資損益( は益)	-	2,782
売上債権の増減額( は増加)	81,194	120,332
たな卸資産の増減額( は増加)	13,051	9,781
仕入債務の増減額( は減少)	13,728	67,366
未払消費税等の増減額( は減少)	3,432	5,122
その他の流動資産の増減額( は増加)	1,674	4,634
その他の流動負債の増減額( は減少)	5,484	562
その他	1,416	1,004
小計	169,896	84,249
利息及び配当金の受取額	4,868	5,355
利息の支払額	9,593	8,028
法人税等の支払額	40,312	17,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	124,859	64,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	-	614
投資有価証券の取得による支出	460	427
保険積立金の積立による支出	6,647	6,647
差入保証金の回収による収入	1,288	31
その他	1,388	10,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,208	17,769
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	-	-
長期借入金の返済による支出	38,000	38,000
リース債務の返済による支出	2,125	2,158
配当金の支払額	50,759	0
その他	6,464	6,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	97,350	46,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	20,300	303
現金及び現金同等物の期首残高	1,124,318	1,150,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,144,619	1,150,677

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。  
なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	48,039千円	37,959千円
支払手形	72,711千円	65,762千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与・賞与手当	188,046千円	169,811千円
賞与引当金繰入額	9,366千円	10,580千円
役員退職慰労引当金繰入額	16,250千円	15,725千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	1,444,619千円	1,450,677千円
預入期間が3か月を超える定期預金	300,000千円	300,000千円
現金及び現金同等物	1,144,619千円	1,150,677千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	50,828	10.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループの事業は、産業用一般電子部品、電子機器の販売を行っており、事業区分としては、単一のセグメントであり、開示対象となるセグメントはありませんので記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( ) (算定上の基礎)	5円19銭	58銭
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	26,378	2,944
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	26,378	2,944
普通株式の期中平均株式数(株)	5,082,880	5,082,880

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、当第2四半期連結累計期間については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。前第2四半期連結累計期間については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

株式会社 栄 電 子  
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 石 戸 喜 二 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 山 田 嗣 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社栄電子の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社栄電子及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。